

臀部からの浸出液を伴った小児アトピーの経過 (10 歳女兒)

症例 ID：001-10-HYk | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

幼稚園入園頃からアトピーが出ました。ステロイドは使っていなかったため症状は強くなく、おしりと足が少しかゆい程度でした。夏には症状が消え、秋から冬にかけて現れることを繰り返していました。

2 年前の冬、学校から「おしっこをしていないのにズボンまで濡れている」と連絡があり、臀部から体液のようなものが下着を通してズボンまで濡れる状態になりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイドは使用していませんでした。
製品名	該当なし。
強度	該当なし。
使用期間	使用なし。
中止時期	該当なし。
来院前／後	来院前後ともステロイド使用歴はありません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼稚園入園頃	来院前	おしりと足に軽いかゆみがあり、夏には消え、秋から冬に現れることを繰り返していました。
2 年前の冬	ピーク期	おしりの部分から体液のようなものが出て、下着を通してズボンまで濡れる状態になりました。
同日	治療開始	松本医院を受診し、煎じ薬と塗り薬を受けました。
治療開始後	経過中	煎じ薬を真面目に飲むようになり、水筒にも入れて登校しました。かゆみが引き、症状も少しずつ良くなりました。
その年の夏	回復傾向	かゆみは治まりましたが、赤みは残っていました。
翌年冬	症状の波	再びアトピー症状が出ました。
2 年目の夏	経過後	おしりの赤い部分もわからないほどきれいになりました。
今年の冬	経過後	アトピー症状は出ませんでした。

4. ピーク時期

ピークは、臀部から体液のようなものが出て、下着を通してズボンまで濡れる状態になった時期です。

5. 困りごと

- ・学校から連絡が入り、保護者が急いで迎えに行く必要がありました。
- ・臀部からの浸出液で衣服が濡れるため、学校生活上の不安がありました。
- ・煎じ薬を継続する必要があり、水筒に入れて登校していました。

6. 経過のまとめ

臀部からの浸出液でズボンまで濡れる状態になり、松本医院を受診しました。煎じ薬と塗り薬を続ける中で、かゆみが引き、症状も少しずつ良くなりました。

2年目の夏には臀部の赤い部分もわからないほどきれいになり、その後の冬にはアトピー症状は出ませんでした。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。